



# 学校だより

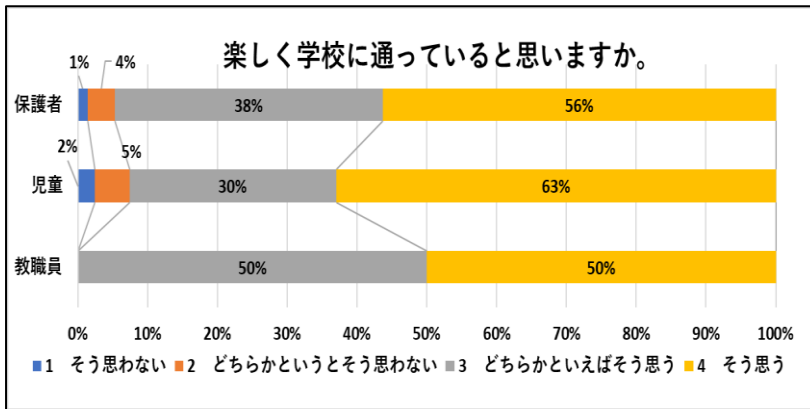
流山市立西初石小学校  
校長 奥村 明子  
在籍児童数 681名  
教育活動アンケート特別号  
令和6年 3月 1日

## 令和5年度教育活動アンケート集計結果特集

今回の学校だよりでは、令和5年11月24日～令和5年12月11日に実施いたしました、教育活動アンケート調査の結果についてご報告いたします。

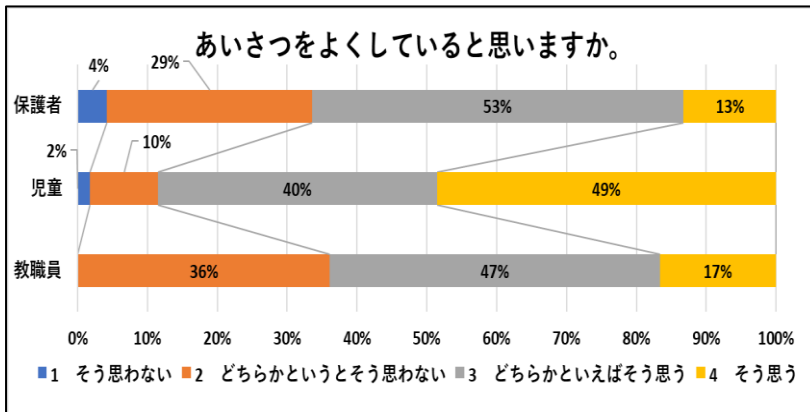
### 1 結果と考察

(1) 保護者・児童・教職員:楽しく学校に通っていると思いますか。



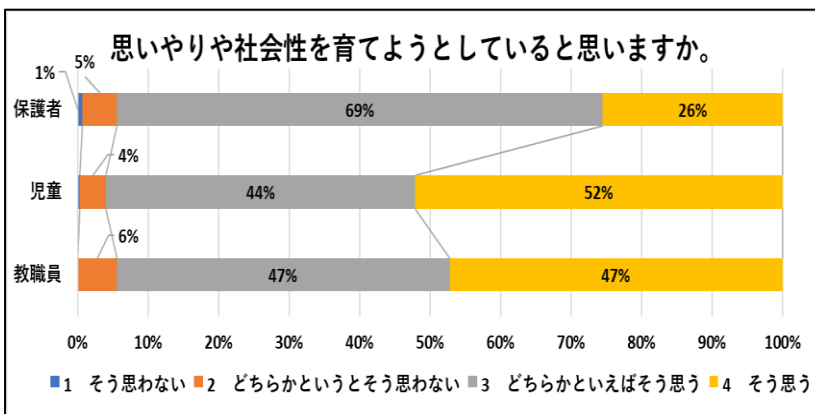
肯定的回答である「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、保護者は94.8%、児童は92.5%と、高い評価となりました。学年別の児童の結果を見ると、1年生及び高学年において、否定的回答がやや多くなりました。1年生では、初めてのことに対する心配や、友達との小さなトラブルも起こりやすく、不安を感じる児童がいること、高学年では、友人関係の複雑化や、学習内容が難しくなることが考えられます。日頃からの声かけや友達と関わりを深める活動を行い、安心して生活できる学校づくりに努めてまいります。

(2) 保護者・教職員:西初石小学校の児童は、あいさつをよくしていると思いますか。  
児童 :あなたは、友達や先生、地域の方によくあいさつをしていますか。



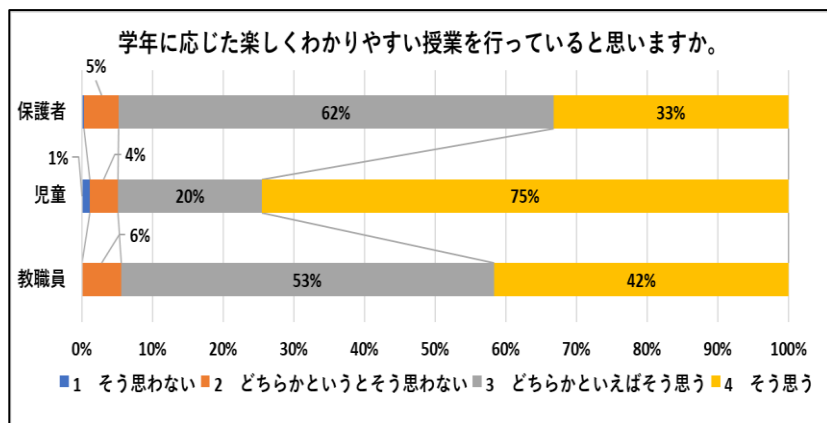
肯定的回答の割合が最も低い項目であると共に、保護者は66.4%、児童は88.3%と、数値に差が見られます。多くの児童は、よく知っている人への挨拶はできていると感じています。一方で、登校の見守りの方からは、自分から挨拶する児童が減っており、挨拶を返せない児童も多いとの声があります。個人でも、また、誰こでも、挨拶ができる児童を目指し、よりよい姿について、児童と一緒に考えていきたいと思ひます。

(3) 保護者・教職員:学校は、思いやりや社会性を育てようとしていると思いますか。  
児童 :あなたは、他学年や友達との活動で、約束を守り、協力していますか。



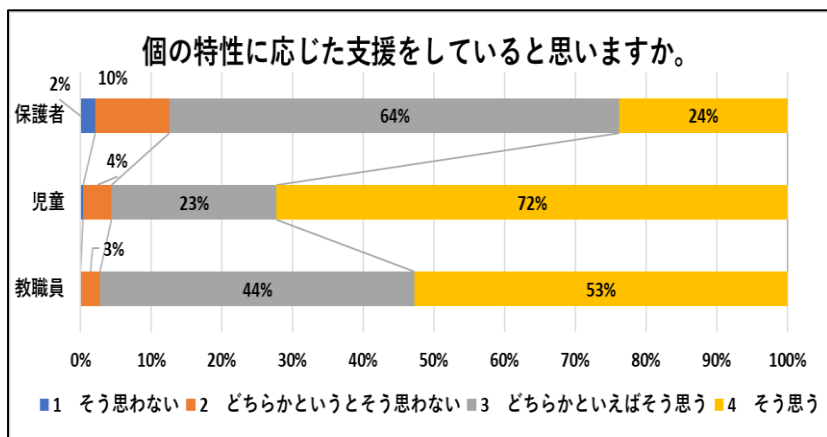
肯定的回答の割合は、保護者は94.4%、児童は95.8%と、高い評価となりました。異学年交流の場として「ふれあいタイム」を設定し、児童同士の交流の機会を作っています。上級生が、下級生との関わりを通して、思いやりの心やリーダー性を身につける機会となっています。道徳の授業での学びなども生かしながら、思いやりの気持ちや社会性を育てていきたいと思ひます。また、生活のきまりについては、主体的に守ることができるきまりとなるよう、児童の意見を取り入れながら、実状に合ったものに、適宜見直してまいります。

- (4) 保護者・教職員:学校は、学年に応じた楽しくわかりやすい授業を行っていますか。  
 児童 :先生は、楽しくわかりやすい授業をしてくれていますか。



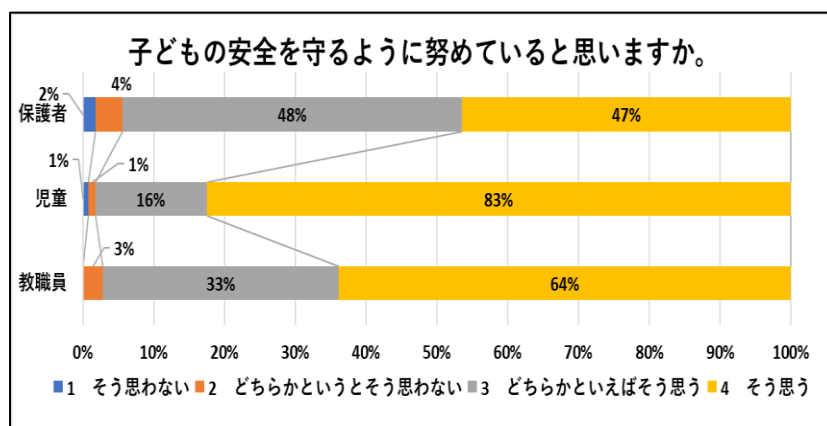
肯定的回答の割合は、保護者は94.8%、児童は94.7%と、高い評価となりました。特に、児童の回答では、「そう思う」の割合が、非常に多くなっています。「できた、わかった」という喜びを感じている児童が多い一方で、否定的回答の5%を重く見ていく必要があります。今年度は、全学年で交換授業を取り入れました。また、授業においては、学習課題を明確にし、毎時間の授業の振り返りをしっかりと行うようにしています。ICTの効果的な活用についても実践を重ねながら、職員の授業力向上に努めてまいります。

- (5) 保護者・教職員:学校は、個の特性に応じた支援をしていますか。  
 児童 :先生は、あなたの気持ちや力に合った手助けや指導をしてくれていると思いますか。



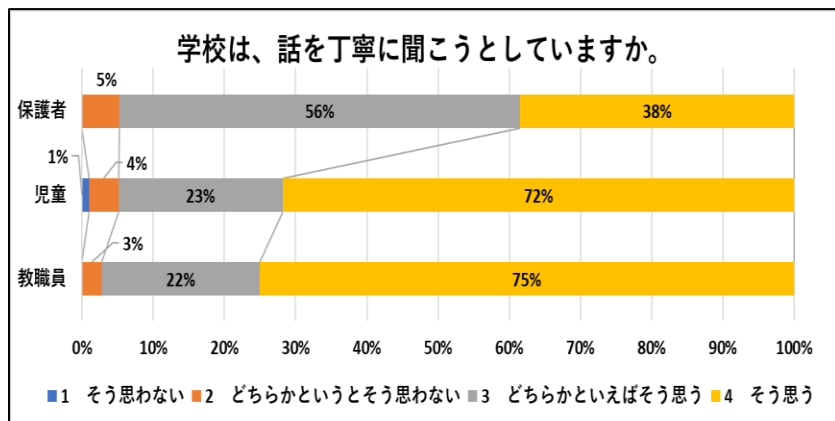
肯定的回答の割合は、保護者は87.4%、児童は95.5%でした。保護者の肯定的回答については、昨年度と比較すると1.2%高くなりましたが、個に応じた支援が十分ではないと考えている保護者が10%程度ある状況が続いています。アンケートでは、人を増やした方が良いというご意見もいただきましたが、人の配置は限られているのが現状です。学校として、より良い支援体制を柔軟に整えると共に、保護者面談の実施、個別の指導計画の作成、サポート教員・指導員による支援、専門家の助言・指導等、今後も保護者と連携し、必要な支援について十分検討していくことができるように努めてまいります。

- (6) 保護者・教職員:学校は、子どもの安全を守るように努めていると思いますか。  
 児童 :あなたは、避難訓練などで、自分の身の守り方がわかりましたか。



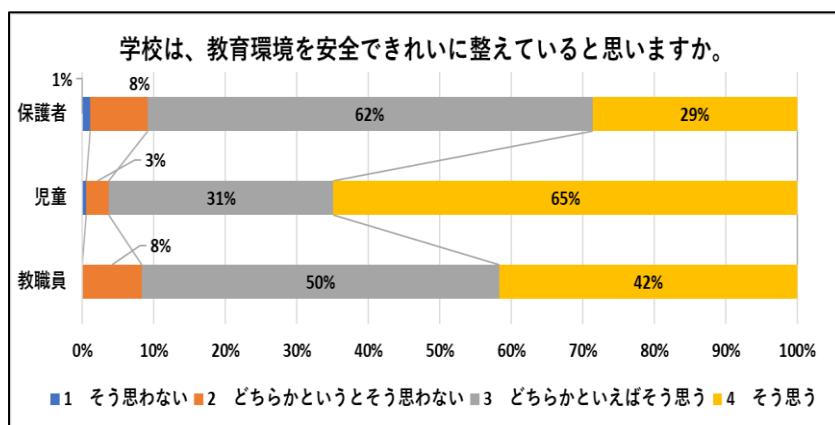
肯定的回答の割合は、保護者は94.4%、児童は98.1%と、高い評価となりました。教育活動の中では、警察署や消防署と連携し、防災教育や防犯教育、交通安全教育を実施しました。また、市、警察、PTAと連携し、地域からいただいた声をもとに、通学路の合同安全点検も行っています。登下校時の安全指導では、保護者や地域の皆様のご協力に感謝しております。歩道の歩き方や横断歩道の渡り方などについては、児童の安全意識が低く危険な状態もあるというご意見もいただいております。課題であると考えています。児童が自分の身は自分で守る力を身につけられるよう、具体的な指導に努めてまいります。

- (7) 保護者・教職員:学校は、お子さんや保護者の皆様、地域の皆様の話を丁寧に聞こうとしていますか。  
 児童 :先生は、悩みごとの相談にのってくれたり、いろいろな話を聞いてくれたりしますか。



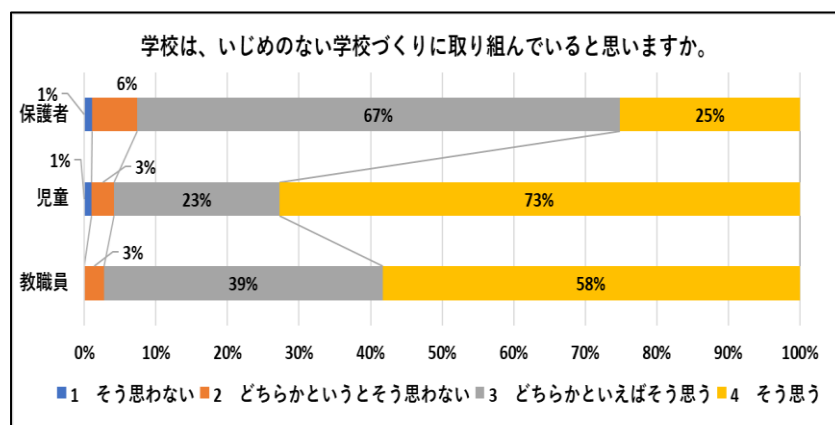
肯定的回答の割合は、保護者は94.8%、児童は94.7%と、高い評価となりました。保護者については、肯定的回答が昨年度より0.3%上回りました。本校では、児童がいつでも相談しやすいよう、相談箱の設置や悩みごと相談員の周知、定期的なアンケートの実施などを行っています。また、保護者の皆様には、毎月教育相談日を設けるとともに、月1回、スクールカウンセラーも来校しています。より相談しやすい環境づくりと周知に努めてまいりますので、いつでも遠慮なく学校までご相談ください。

- (8) 保護者・教職員:学校は、施設や設備等の教育環境を安全できれいに整えていると思いますか。  
 児童 :あなたは、一生懸命にそうじをして学校をきれいにしようしたり、学校のものを大切に使用したりしていますか。



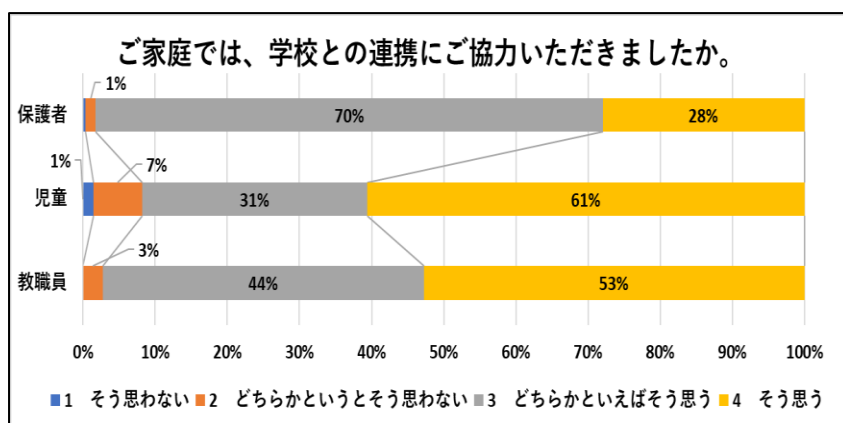
肯定的回答の割合は、保護者は90.9%、児童は96.2%と、高い評価となりました。多くの児童は一生懸命に掃除に取り組んでおりますが、施設・設備の老朽化に伴い、教育環境整備が必要な箇所もあります。本年度は、市教育委員会により体育館エアコン設置工事、1年生教室ロッカー・床改修工事、消火管改修工事、樹木伐採等の大きな工事が行われ、特に体育館については暑い時期の体育の学習も安心して行うことができるようになりました。地域・保護者のボランティアの皆様には、窓掃除、トイレ掃除、プール掃除、図書室整備等、きれいな学校作りにご協力いただき、感謝申し上げます。

- (9) 保護者・教職員:学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。  
 児童 :先生は、学校やクラスでいじめがないようにしていますか。



肯定的回答の割合は、保護者は92.7%、児童は95.7%と、高い評価となりました。本校では、いじめは、どの学級でも起こり得るという認識を全ての教職員が持ち、未然防止に取り組んでいます。日々の学校生活の中で、児童から訴えのあった事案やトラブルについては、被害側、加害側共に、必ず保護者の皆様と情報共有しています。また、全学年でのいじめ防止授業や、いじめアンケートなど、いじめに特化した取り組みも行っていきます。今後も、本校のいじめ防止基本方針に則り、組織的な対応を行ってまいります。

- (10) 保護者:ご家庭では、学校との連携にご協力いただきましたか。  
 児童 :あなたは、おうちの人に学校の話をしたり、学校からの手紙をちゃんとわたしたりしていますか。  
 教職員:保護者は、学校との連携に努力していると思いますか。



肯定的回答の割合は、保護者は98.3%、児童は91.7%と、高い評価となりました。保護者については、肯定的回答が昨年度より0.7%上回り、また、全ての設問の中で最も肯定的回答が多い設問となっており、本校の特色であると考えています。今年度も、PTAによる学校支援や、地域学校協働本部コーディネーターの活動、親父の会のボランティア等、多くの場面でご協力をいただきました。また、昨年度より西初石中学校区のコミュニティスクールとして、「人と人とのつながりを大切にした連携」を大切に取り組んでいます。今後も、地域、保護者の皆様のお力添えをいただきながら、持続可能な形での連携について検討してまいります。

## 2 全体を通して

今年度は、「未来を拓く子どもを育てる～明るく元気な西初石っ子の育成～」の学校教育目標のもと、「学びたくなる学校・笑顔あふれる学校・安心できる学校・夢を持てる学校・地域とともにある学校」を目指す学校像とし、教育活動を行ってまいりました。

調査の結果、全10項目のうち8項目については、保護者・児童・教職員全ての肯定的回答が90%以上となり、今年度の教育活動について、一定の評価をいただいたと考えております。改善が必要な項目については早速検証し、今後の学校教育目標達成に向け、教職員一丸となって取り組んでまいります。

また、本校では、年間を通して、地域の良さを生かした体験活動を重視し、各学年が地域の方や自然と関わる体験を行ってきました。特に、大畔の森で4年生が実施した自然観察や5年生が実施した米作り体験、小・中・高の連携として様々な場面で実施してきた児童や職員の交流は、本校の特色ある教育の中心となるものです。今後も、様々な体験を通して、いきいきと学ぶ児童の姿を目指し、教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

なお、保護者アンケートでは、学校を教育の場としてよりよくするための具体的な考えについてもおうかがいし、多くの皆様にご意見を記入していただきました。学校経営に関するご意見・ご感想はいつでもお受けし、積極的に取り入れながら、学校体制や行事の見直しをしつつ、より良い西初石小学校を目指していきたいと考えております。今後とも、ご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。